

# 第16回「リバーサイドカーニバル2007」

10月21日(日)開催



幼稚園児の鼓笛演奏



乗馬を楽しむ親子



円城寺の芭蕉踊り(県重要無形民俗文化財)



人人でぎっしりのグルメコーナー



大迫力のよさこいソーラン

今年のキャッチフレーズ「みんなで行こう！リバサへ行こう！」にふさわしく大勢の人が参加するリバーサイドカーニバルがみなと公園一帯で開催されました。

ぎふ児童合唱団で幕をあけたステージは、下羽栗小学校の鼓笛や、笠松清流太鼓、松枝小学校の和太鼓、円城寺芭蕉踊りの披露など笠松を代表する伝統芸能で盛り上がりました。

また、笠松中学校ブラスバンド部による演奏、笠松にちなんだ唄「花の鮎鮪街道」を歌う松田敏来さんによる歌謡ショーは会場の人を魅了し、かわいい園児の演技では笑顔を誘いました。さらに、子どもたちに人気のアンパンマンショーがステージ狭

しと練り広げられました。会場内に設けられたふれあいコーナー、陣屋市、食欲をそそるさまざまなメニューが並んだグルメコーナー、子どもたちに人気のちびっこコーナー、岐阜工業高校によるミニESLなど、会場全体が多くの人で賑わいました。

笠松町の大切な資源である木曾川では、Eポート大会が開催され熱戦が練り広げられました。そして毎年人気の川舟遊覧には、今年も多くの人が乗船し、流れに揺られて水上から見る風景を楽しんでいました。

ファイナルステージでは健康体操の皆さんによる「よさこいソーラン」が披露され盛大な拍手が起りました。